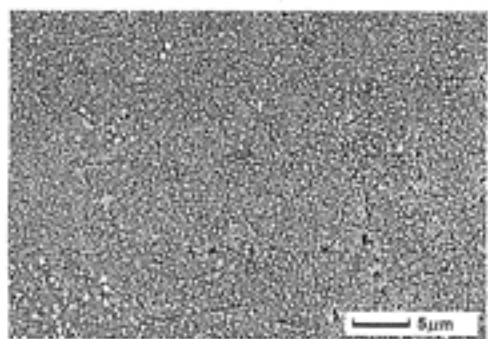


# 抗菌微粒子塗装を拡大

## ペイントサービス



除菌するためトイレに施工



顕微鏡で見た抗菌微粒子

## 岐阜大と効果検証

### 信頼獲得 主力事業に育成へ

防水塗装、コーキングなどの各工事を手がけるペイントサービス（本社江南市大海道中里135、村瀬栄次社長、電話0587・59・6561）は、銀イオンの放出によって有害な菌の細胞壁を破壊し、増殖を抑える「光キントック抗菌微粒子」の塗装施工を拡大する。年内にも岐阜大学との共同研究による効果検証を終え、その分析データを基に信頼性をアピールし、認知度を高めていく。同施工法は今夏から開始し、半年で1千万円弱を受注しているが、今後は主力事業に育て、3年後には全社の売り上げを10億円規模に引き上げる計画だ。

（江南・倉科信吉）

86年に創業。建築・つけなど各種塗装から築工事などを手がけて、鋼橋・高所特殊・吹き・防水施工、看板・改増・おり、年商は6億5千万円（09年4月期）。数年前から主力の一般建築塗装が競争激化で収益環境が悪化。そ

のため、新分野への事は高いものの、認知度が不十分なことから現在、その実証データを岐阜大との共同研究で検証している。従来は、静電気の力で抗菌剤微粒子をペンキ表面に付着、吹き付け圧力と表面張力で塗膜表面に食い込ませ、同微粒子の半分を表面に露出させた状態で乾燥・硬化させる技術。その抗菌など効果

は高いものの、認知度が不十分なことから現在、その実証データを岐阜大との共同研究で検証している。

従来は、静電気の力で抗菌剤微粒子をペンキ表面に付着、吹き付け圧力と表面張力で塗膜表面に食い込ませ、同微粒子の半分を表面に露出させた状態で乾燥・硬化させる技術。その抗菌など効果

従来は、静電気の力で抗菌剤微粒子をペンキ表面に付着、吹き付け圧力と表面張力で塗膜表面に食い込ませ、同微粒子の半分を表面に露出させた状態で乾燥・硬化させる技術。その抗菌など効果